

会議録

会議の名称	第3回加東市総合計画審議会		
開催日時	令和4年7月22日(金) 9時から12時まで		
開催場所	社公民館 2階 研修室		
議長の氏名 (会長 梅野巨利)			
出席及び欠席委員の氏名			
〈出席委員〉			
・小野里光子	・平川米一	・藤原輝彦	・本山亨
・梅野巨利	・須田康之	・中江艶子	・神部幸浩
・永井智裕	・林山祐子	・藤井悦雄	・本山早苗
・矢野弘之	・山本理之		
〈欠席委員〉			
・坂本泰三	・吉田亘秀	・小林敏正	・芦田希望
・石田三有希	・滝川智秀		
出席した職員の氏名及びその職名			
〈事務局〉			
・まちづくり政策部長 三木秀仁	・まちづくり政策部企画政策課長 下岡正裕		
・まちづくり政策部まちづくり創造課長 山本幸平	・まちづくり政策部企画政策課副課長 岸本純子		
・まちづくり政策部まちづくり創造課副課長 小林寿泰	・まちづくり政策部企画政策課係長 村上計太		
・まちづくり政策部まちづくり創造課係長 藤原恵			
〈その他の職員〉			
・こども未来部長 広西英二	・こども未来部参事兼学校教育課長 井上聡		
・こども未来部参事 神田英昭	・こども未来部小中一貫教育推進室長 丸山真矢		
・こども未来部発達サポートセンター所長 友藤由貴子	・こども未来部こども教育課長 井澤彰子		
・教育振興部長 田中孝明	・教育振興部教育総務課長 前中公和		
・教育振興部生涯学習課長 岸本孝司	・教育振興部中央図書館長 田中美紀子		
・市民協働部長 土肥彰浩	・市民協働部市民課長 稲岡孝泰		
・市民協働部保険医療課長 片嶋美紀	・市民協働部生活環境課副課長 藤原義守		
・市民協働部人権協働課長 西山太	・健康福祉部長 大西祥隆		
・健康福祉部参事兼健康課長 細川公代	・健康福祉部福祉総務課長 近澤孝則		
・健康福祉部社会福祉課副課長 東谷雅之	・健康福祉部高齢介護課長 平野好美		
・病院事業部事務局長 堀田敬文	・産業振興部農政課長 神戸剛		
・産業振興部農地整備課長 大橋博英	・産業振興部商工観光課長 菅野勇一		
・都市整備部長 大畑敏之	・都市整備部都市政策課長 長谷川茂		
・都市整備部土木課長 安則宏幸	・都市整備部加古川整備推進室長 長谷田克彦		
・上下水道部長 小坂征幸	・上下水道部管理課長 阿江英俊		
・上下水道部工務課長 西角昌記	・秘書室長 原田幸広		
・まちづくり政策部人事課長 藤原英樹	・総務財政部長 肥田繁樹		
・総務財政部総務財政課長 西山卓良	・総務財政部管財課副課長 尾崎佳美		

・総務財政部 税務課長 杉本亜弥子 ・総務財政部 防災課副課長 西山英希
 ・委員会事務局 局長 鈴木敏久 ・委員会事務局 次長 藤本弘子

議題、会議結果、会議の経過及び資料名

1 議題及び会議資料

・第2次加東市総合計画後期基本計画（主要施策部分）について

【資料】第2次加東市総合計画後期基本計画（主要施策部分）《素案》

2 会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
委員 室長 会長 委員 部長 委員 参事 委員 参事 委員 課長 委員	<p>1 開会</p> <p>2 協議事項 第2次加東市総合計画後期基本計画（主要施策部分）について ○後期基本計画のうち、次の政策について担当部署から説明 ・政策Ⅰ 未来を創造する子どもたちを育む学びのまち ・政策Ⅱ 学習環境が充実した文化あふれるまち ・政策Ⅲ ひと・くらし・自然が調和した共生・協働のまち ≪質疑応答等≫ 【主要施策1 小中一貫教育の推進】 ・まちづくり指標の「学校生活に満足する児童・生徒の割合」について、2021年の実績が37.1%というのはいささか低いのではないかと。 ・児童・生徒アンケート調査で「とても楽しい」と回答のあったものを採用しているが、「楽しい」を含めると数値は上がる。数値のとり方については検討する。 ・まちづくり指標は、今後の計画の評価でも重要となる。「学校生活に満足する児童・生徒の割合」という指標は、小中一貫教育の推進に関する指標として合わないのではないかと。小中一貫教育の推進に関連する指標を検討してほしい。 ・「かとう学」副読本はとても良い本であるが、子どものいない世帯には届いていない。地域で子どもたちを育てていくのであれば、大人にも配布してもらいたい。 ・副読本は毎年更新しているので配布は難しい。ホームページでの公表など、方法を工夫したい。 【主要施策2 確かな学力・主体的に学ぶ態度の育成】 ・取組①は、アントレプレナーシップ教育の考え方に基づいたものであると思うが、市は具体的にどのような取組をしようとしているのか。 ・市では小中一貫教育で9年間を見通したカリキュラムを作成し、ふるさと学習も取り入れながら総合的な学習や横断的に各教科において指導し、最終的にはSDGsも取り入れたカリキュラムを作成し、子どもたちが自分たちのまちやこれからの社会について考えていけるように取組を進めている。 【主要施策3 心の教育の推進】 ・多様性を認め合う教育が十分ではないと感じる。まちづくり指標の「困っている人を助ける児童・生徒の割合」も実績値が低いように思うため、多様性を認め合う教育に力を入れてもらいたい。 ・近年、外国籍の子どもたちも増えてきており、道徳教育を中心に多様性を認め合う教育を広めていきたいと考えている。 【主要施策4～5】 質疑応答なし 【主要施策6 幼児教育と保育サービス等の充実】 ・アフタースクールについて、ボランティアの人数が学区間で異なっているが、個別の小学校に登録する形ではなく、市全体で登録し、そこから配置するというようにはできないのか。 ・アフタースクールの人員配置には基準があり、児童40人に対して支援員を2人配置しなければならないが、支援員が不足する場合は、委託先から職員を派遣してもらい基準を達成している。 ・アフタースクールでは、子どもたちはどのようなことをしているのか。</p>

課長	・宿題をしたり、グラウンドで遊んだりなど、家庭の代わりとなる環境で過ごしている。
委員	・他市ではピアノや習字、英会話などに取り組んでいるところもある。大人とのふれあいの中で、上手に社会について体験できる場となしてほしい。
会長	【主要施策7 学校教育環境の整備充実】 ・ICT教育環境の充実とあり、近年ネットいじめやパスワード管理などが問題になっているがまちづくり指標にはない。指標としてとらえるものが必要ではないか。
委員	・ICT機器を適切に維持管理するだけで、児童・生徒に対して何を求めるのかわからない。
参事	・具体的には主要施策2の取組⑤が該当する。教師が児童・生徒一人ひとりの学習に合わせて指導していくが、自分自身で情報を正しく理解、判断して活用していくことを目的としている。
委員	【主要施策8～11】 質疑応答なし 【主要施策12 廃棄物の減量・リサイクルの推進と処理体制の効率化】 ・「1人1日当たりのごみ排出量」という指標は、グラム数では市民向けとしてわかりにくいと思うので、「1人当たり年間処分費用」などの金額で示すことはできないか。また、ごみ削減の方策についても教えてもらいたい。
副課長	・1人当たりの処分費については、数値は把握しているが、計画に掲載するかは検討する。また、1人1日当たりのごみ排出量は、生活系と事業系を合わせたごみの量であり、生活系ごみは10年連続で県下最少となっているが、事業系ごみとして排出される一般廃棄物は県下20位程度なので、事業系ごみをどう削減するかが課題である。
委員	・処分費用がいくらかかっているのかを示さないとごみ袋の金額でごみ処理費を賅えていると思っている市民が多い。
副課長	・当然、ごみ袋の手数料だけではごみ処理経費を賅うことはできないので、何らかの形でお知らせすることを検討する。
会長	【主要施策13・14】 質疑応答なし 【主要施策15 総合窓口サービス等の充実】 ・マイナンバーカードの利用促進に関しての指標があると良いのではないかと。 【主要施策16～19】 質疑応答なし
	○後期基本計画のうち、次の政策について担当部署から説明 ・政策Ⅳ 子どもから高齢者まで安心して暮らし続けられるまち ・政策Ⅴ 地域産業が躍動する活力あふれるまち ・政策Ⅵ 豊かで快適な暮らしを支える都市基盤が整備されたまち
	〈質疑応答等〉
委員	【主要施策20】 質疑応答なし
事務局長	【主要施策21 病院事業の安定運営】 ・まちづくり指標の「経常収支比率」について担当課の所感を教えてほしい。
委員	・経常収支比率については、新型コロナウイルスの影響もあり悪化している。
事務局長	・収支が悪くなったら税金で補填せざるを得ない。独立採算できないという認識でよいのか。
事務局長	・令和3年度は一般会計から赤字補填はしていない。令和4年度もそのつもりで努力しているところである。
会長	【主要施策22 健康増進の推進】 ・まちづくり指標と取組との関連が非常に難しい。市の取組がどの程度市民の健康に役立つのかを測れる指標はないか。
参事	・例えば、こころの健康づくりをどのように測るかについては、こころに負担があると不眠が増えるという関連を重視して指標として設定している。どのような指標が適切かは検討を重ねるが、代わるものが見出せなかったということが現状である。
会長	・職員の努力が直接現れるような指標があれば良いと思う。

委員	<ul style="list-style-type: none"> インパウンドの確保も必要である。ゴルフ場などと協力し、ストーリー性を確保し、地域ぐるみで取り組めば外国人に対しても観光地の魅力向上につながるのではない。
委員	<p>【主要施策35 安全・快適で機能的な道路整備や河川改修等の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組②に「神戸方面に伸びる高規格道路ネットワークの整備」とあるが、現在、神戸方面への所要時間は1時間程度で、十分早いと思っている。建設には多大な費用がかかるが、本当に必要なのか。
部長	<ul style="list-style-type: none"> 現在は構想段階であり、実現可能性について研究しているところである。確かに神戸方面については1時間程度で行けるが、道路幅が狭い箇所やカーブが多く複雑な形状をしているため、できれば建設したいと考えている。 <p>【主要施策36】 質疑応答なし</p> <p>【主要施策37 安全・安心で良好な住環境の形成】</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 取組①に「意識啓発による空家の発生抑制」とあるが、意識啓発の具体的な方法を教えてほしい。
課長	<ul style="list-style-type: none"> 空家になると近所に迷惑がかかるという考えがなくなってきているため、まず空家の管理は自己責任で行わなければならないという認識が大切である。市では固定資産税の納税通知書にチラシを同封して空家の管理について周知している。今年度から空家の除却に補助金を出す制度も設けており、あらゆる機会をとらえて地域と連携しながら意識啓発を行っていく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断を推進されているが、倉庫の屋根にはアスベストが含有されているケースが多いが耐震化されていない。既存住宅だけでなく既存倉庫についても対策をお願いしたい。 <p>○後期基本計画のうち、次の政策について担当部署から説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 政策Ⅶ 安全でおいしい水と快適な生活環境が持続されたまち 政策Ⅷ 戦略的経営と協働で創造する魅力あふれるまち 政策Ⅸ 安定した行政経営基盤と危機管理による安全・堅実なまち 政策Ⅹ 公平・中立なまちづくりに取り組むまち <p>《質疑応答等》</p> <p>【主要施策38～43】 質疑応答なし</p> <p>【主要施策44 にぎわいと活力があふれるまちづくり】</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 製造業では時期によって雇用者数や製造量の調整を行っているが、労働者不足が深刻な問題となっており、派遣会社を通じて労働者を確保できても住む場所がないという問題が生じる。期間限定で市営住宅に住むようなことを検討してもらえないか。
部長	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅については税で運営していることもあるため難しい。期間限定で発生する住居不足の問題については、担当部署と共有する。 <p>【主要施策45～49】 質疑応答なし</p> <p>【主要施策50 交通安全・防犯対策の推進】</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の見守りについて、見守り隊を配置している場所は、大人が必要と考えているところか子どもからの依頼なのか教えてほしい。また、こども110番について運用方法やこどもがいざ逃げてきた時の対応方法などの勉強会が開催されていないが、今後のこども110番の運用も教えてほしい。
副課長	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の見守りに関しては、主に学校が配置場所を選定しているが、交通量を勘案しながら主要交差点や危険な場所に配置している。こども110番の運用については、市では十分に把握できていない状況である。今後は、学校と連携して対応を充実させたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 他県で通学路の見直しに携わったが、子どもから聞き取りをすると、大人とは違う視点での指摘がたくさんあったため、子どもの視点も反映するとより有効と考える。 <p>【主要施策51 消防・防災力の充実強化】</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> マイ避難カードについて、小学生や外国人は「避難」が読めない。避難所マップをもらっても地図を見ることができないと誰かの助けがないと逃げることができ

委員	ない。災害時の知恵を授けておけば減災にもつながるため、子ども版マイ避難カードの作成をしてもらいたい。
副課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年大雨で高齢者避難が発令されたとき、避難時に混乱が生じ体制が整っていないと感じることがあった。避難所の開設基準と運営方法を教えてほしい。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所については河川の増水や今後の雨量を踏まえて警戒レベルを設定し、それに基づき避難所を開設している。現実には、避難が困難という場合もあるが、日頃からハザードマップで避難場所を確認しておいてもらいたい。 ・ 避難所では、市職員は常駐するだけか。 ・ 基本的には市民には3日分の備蓄をお願いしている。大雨の場合、基準では警戒レベル3で高齢者避難が発令となるが、実際には雨量や増水の状況により、逃げやすい時間帯に発令している。避難所の運営については、職員を配置し受付等を行い、長期になる場合は物品の調達を行う。また、長期の際は区長にも配布している避難所運営マニュアルを活用し、避難者や地域住民の協力を得ながら避難所運営を行うこととなる。
委員	【主要施策52 透明で公正な行政の推進】
次長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市長選挙の際、家族でも投票所入場券が届く日が違っており、期日前投票が始まっているのに入場券が届かなかった。また、開票速報についても、メディアでは先行して当選確実が報道されるが、市民としては確定した上で発表してもらいたい。 ・ 投票所入場券は、選挙が行われることが確定した後に発送することとなっている。郵便局にはお願いしているが、どうしても有権者全員に配達するには3日間ばかり、また、仕分けをする機械の関係で家族でも別の日に届き、そのことでたくさんの方の御意見をいただいている。投票所入場券がなくても期日前投票はできるため、今後、周知を進めていく。開票速報については、実際の状況は市のホームページやCATVの文字放送で発表しているが、メディアは出口調査を踏まえて発表している。メディアに意見として伝えることはできるが、止めることはできないと思う。
	【主要施策53】 質疑応答なし
	3 閉会

令和4年9月8日

会長 梅野巨利
副会長 平川米一